令和5年度　学校経営計画書

石川県立飯田高等学校
校長　角　　秀　明

１　教育目標（目指す生徒像）

真理を探究し、高い知性と豊かな心を養い、積極・進取の精神をもった明朗快活で実践力のある誠実な人間を育成する。

２　中・長期的目標（経営方針）

（１）学校の現状

①　文武両道を校是とし、教育目標に掲げる人材の育成を目指して教育活動を行なっている。
②　地域の大多数の生徒の育成を担っており、生徒個々の適性や到達度に応じた学習指導や教育相談体制の構築に取り組んでいる。
③　普通コース・ビジネスコース併置の特性を踏まえ、生徒の多様な進路希望に応える指導・支援体制を整えている。
④　部活動を通して礼儀や規範意識の向上を図りながら、ボランティア活動や地域行事への積極参加を通じて、地域に密着した学校作りを推進している。
⑤　地元の中学校と連携を取り、中高接続を意識した学習指導の在り方を追求する取組を進めている。

（２）生徒に関する中・長期的目標

①　学びに向かう意欲と身構えを自ら醸成し、自分の将来に対して前向きに歩み続ける姿勢を身に付ける。
②　基礎・基本となる知識や技能の習得を基に、課題解決力や協働力を高め、実践力を身につける。
③　礼儀正しく、互いの個性や能力を尊重し合いながら、ゆめかな等の活動を通して、故郷に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する人材となる。

（３）教職員・学校組織等の望ましい在り方

①　各課・学年・教科間で密接に連携し、提案型思考をもって業務に取り組むことで、組織的に学校教育力を高める。
②　ＧＩＧＡスクール構想の推進によって授業改善を行ない、確かな学力の定着に努める。
③　生徒観察や面接指導を通して生徒理解に努め、計画的かつ継続的に進路指導・生徒指導を行ない、保護者や地域の期待に応える。
④　学校公開やホームページ・広報誌等により適切な情報提供を行なうとともに、地域の教育資源を活用した取組を積極的に進める。
⑤　業務効率を意識した働き方改革を進めることで、ワークライフバランスを実現し、教養が溢れ人間性豊かな教育者となる。

３　今年度の重点目標

（１）主体的・対話的で深い学びにより、知識・技能、思考力・判断力・表現力を育成する。
（２）効果的なＩＣＴ機器の活用法を研究し、各教員の授業力を向上させるとともに、そのノウハウの共有によって学校全体の教育力を高める。
（３）学校行事や部活動、ゆめかな等の活動を通して、円滑な社会生活を送る資質を養い、人間力を育む。
（４）地元中学校や地域社会と連携した取組により、中高６年間を見通した生徒の成長を図る。
（５）教職員自らが効率的な業務や指導法の改善に努め、ワークライフバランスを実現する。